

intloop

×




High Performer
Consultant

テレワークの課題に有効なITツール

ITツールの導入で実現できる働き方改革の課題を中心に、テレワークの導入やそれによって起こりうるコミュニケーションロスを解消するためのツールや、業務プロセスの改善に役立つツール、そして勤務時間や残業時間を適正に管理するにはどのようなツールが役立つかを、テレワークのメリットや課題を明確にし、それを克服する具体的方法や手段まで詳しく解説します。

目次

1. テレワークとは
 2. テレワーク導入における課題
 3. 課題解決に適したITツール – コミュニケーション –
 4. 課題解決に適したITツール – セキュリティ –
 5. 課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –
 6. まとめ
- 

1. テレワークとは

2. テレワーク導入における課題と

3. 課題解決に適したITツール – コミュニケーション –

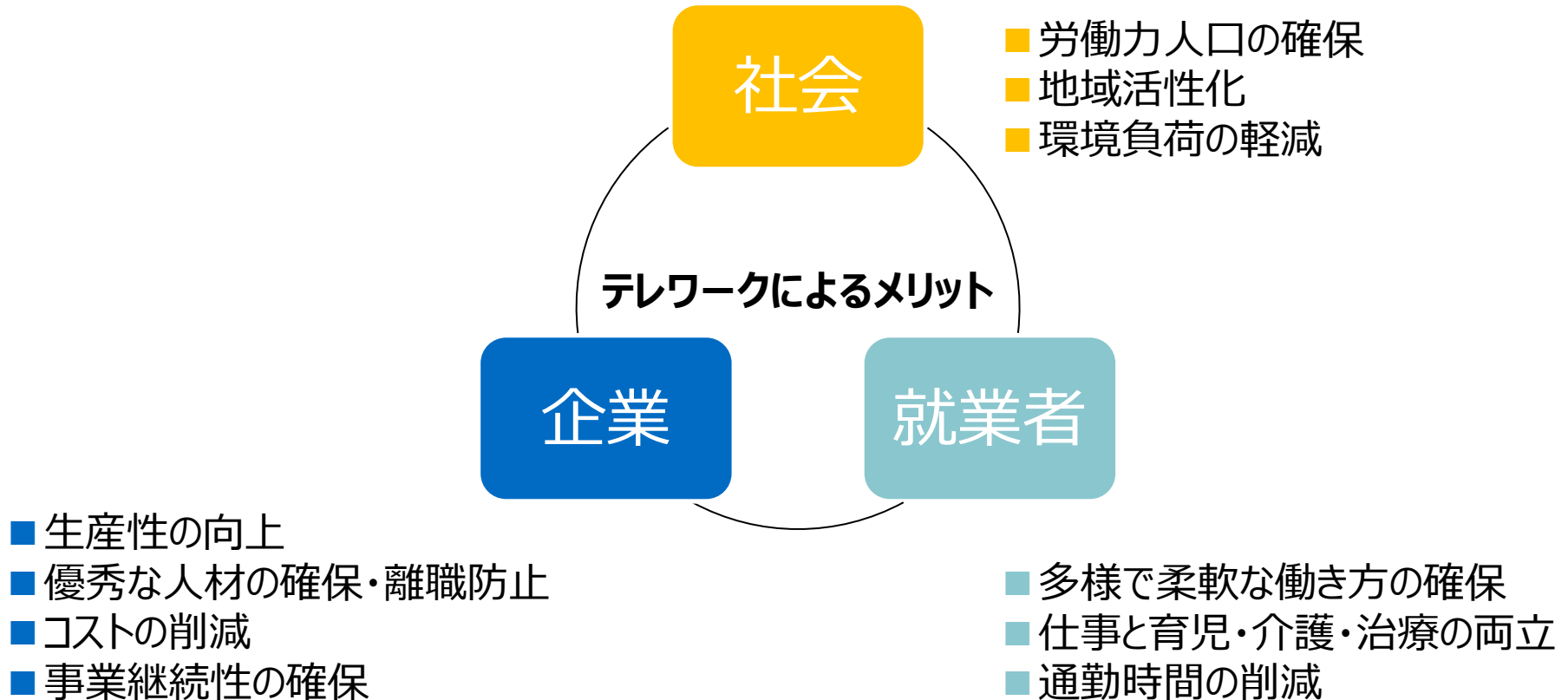
4. 課題解決に適したITツール – セキュリティ –

5. 課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –

6. まとめ

テレワークとは

テレワークとは、情報通信技術(ICT = Information and Communication Technology)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことをいいます。



「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語で、一般的には、モバイルPCを自宅に持ち帰るなどして、会社以外のところから会社のネットワークにアクセスし、働くことをいいます。

1. テレワークとは

2. テレワーク導入における課題

3. 課題解決に適したITツール — コミュニケーション —

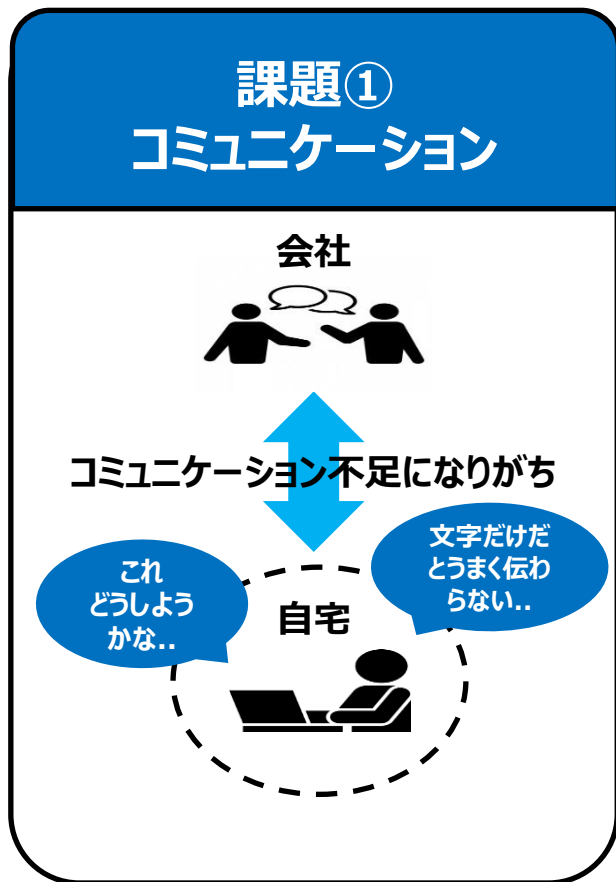
4. 課題解決に適したITツール — セキュリティ —

5. 課題解決に適したITツール — 勤怠管理 —

6. まとめ

テレワーク導入における課題

テレワーク導入時には図のとおり大きく3つの共通課題があり、それを怠ると生産性の低下や情報漏洩など様々なリスクが生じます。ここでは課題と解決策をご紹介します。



コミュニケーションツールを活用する

セキュリティツールを活用する

勤怠管理ツールを活用する

1. テレワークとは

2. テレワーク導入における課題と

3. 課題解決に適したITツール – コミュニケーション –

4. 課題解決に適したITツール – セキュリティ –

5. 課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –

6. まとめ

課題解決に適したITツール – コミュニケーション –

コミュニケーションの課題には、ツールの活用が有効です。WEB会議、チャットツールを活用して、テレワークをする従業員も社内にいるような感覚で会議やミーティングに参加することが可能です。

1 WEB会議ツール

WEB会議とは、遠隔拠点の相手とインターネットを介して音声通話やビデオ通話でのやり取りができる、コミュニケーションツールです。音声通話やビデオ通話以外にもパソコンの画面共有やテキストチャットでのやり取りが出来るため、遠隔での会議が可能になります。

| WEB会議ツールのメリット | WEB会議ツールのデメリット |
|--------------------|--------------------|
| 移動や場所の確保の負担を軽減できる | 参加者の表情などの雰囲気伝わらない |
| 会議の時間短縮や開催費用を削減できる | ネット環境など最低限の環境構築が必要 |
| 社内外とのミーティングが行いやすい | WEB会議に合った進捗が求められる |

2 チャットツール

PCやスマートフォンを介してリアルタイムでコミュニケーションを取ることができるコミュニケーションツールです。形式的・一方通行なメールとは違い、実際に会話するような感覚で使える気軽さが特徴で、1対1だけでなく複数人でのコミュニケーションが可能になります。これによって今までミーティングで共有していた事項もチャット上で共有することができ、コミュニケーションコストが削減できます。

| チャットツールのメリット | チャットツールのデメリット |
|----------------------|-------------------|
| 簡単にコミュニケーションが取れる | 情報漏洩リスクがある |
| 同時に多人数とコミュニケーションが取れる | 過度なコミュニケーションによる障害 |
| 情報共有を簡単にすばやくできる | 対面コミュニケーションの減少 |

コミュニケーションロスを防ぎ、ノウハウの共有や顔が見えることによって安心感を与え、お互いに接しやすい雰囲気を作ります。

課題解決に適したITツール – コミュニケーション –

代表的なWEB会議ツールの特徴、費用、機能についてご紹介します。

Zoom (ズーム)

【特徴】

- 無料で最大100人まで同時にミーティングが可能
- 無料版の場合、最大40分までと制限

【費用】

- 基本：無料
- プロ：2,000円/月/ホスト
- ビジネス：2,700円/月/ホスト
- 企業：2,700円/月/ホスト

【機能】

- モバイル対応：iOS、Android
- 画面共有、録画機能、ホワイトボード機能など

Skype (スカイプ)

【特徴】

- 最大50人まで同時通話可能、通話時間制限無し
- 品質こだわらない、無料で導入したい人向け
- メッセンジャー機能で進捗情報や連絡事項が可能

【費用】

- 基本：無料

【機能】

- モバイル対応：iOS、Android、Windows10 Mobile
- 通話の記録、画面共有、リアルタイム字幕など

Lite FreshVoice (ライトフレッシュボイス)

【特徴】

- 企業単位でIDを契約し会議室 (URL) を保有
- 個人のアカウントは不要で、管理の手間も省ける
- 接続人数：1URLにつき5人

【費用】

- 無料体験あり
- 1ID：15,000円/月
※1IDで1URLを作成可能。
URL追加は3,000円/1URL

【機能】

- モバイル対応：iOS、Android
- ログイン不要、画面共有、録画機能

課題解決に適したITツール – コミュニケーション –

代表的なチャットツールの特徴、費用、機能についてご紹介します。

| チャットワーク (ChatWork) | Slack(スラック) | LINE WORKS (ラインワークス) |
|---|--|--|
| <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">外部サービス (Gmail、Twitterなど) との連携可能通信の全てをSSL/TLSを用いてデータを暗号化 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none">フリー 0円/1ユーザー/月パーソナル 400円/1ユーザー/月ビジネス 500円/1ユーザー/月エンタープライズ 800円/1ユーザー/月 <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none">チャット (メッセージ検索、ダイレクトチャット、ピン機能)タスク管理/完了ファイル管理 (アップロード)ビデオ/音声通話 | <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">世界150カ国で活用されているビジネスチャットシンプルなデザインで初心者でも簡単に操作可能 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none">フリー 0円/月スタンダード 850円/月プラス 1,600円/月Enterprise Grid 営業担当者へ問い合わせ <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none">検索機能 (ファイル、メッセージなど)カスタマイズ機能外部サービスとの連携機能コンプライアンス証明および認証を受けたセキュリティレベル | <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">LINEの操作性を、そのままビジネスで活用できる意識調査や出欠確認が行えるアンケート機能 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none">フリー 0円/月ライト300円/1ユーザー/月 (年間契約)360円/1ユーザー/月(月額契約)ベーシック 500円/1ユーザー/月(年間契約)600円/1ユーザー/月 (月額契約)プレミアム 1,000円/1ユーザー/月 (年間契約)1,200円/1ユーザー/月 (月額契約) <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none">トーク機能カレンダー機能アンケート機能 |

-
1. テレワークとは
 2. テレワーク導入における課題
 3. 課題解決に適したITツール – コミュニケーション –
 - 4. 課題解決に適したITツール – セキュリティ –**
 5. 課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –
 6. まとめ

課題解決に適したITツール – セキュリティ –

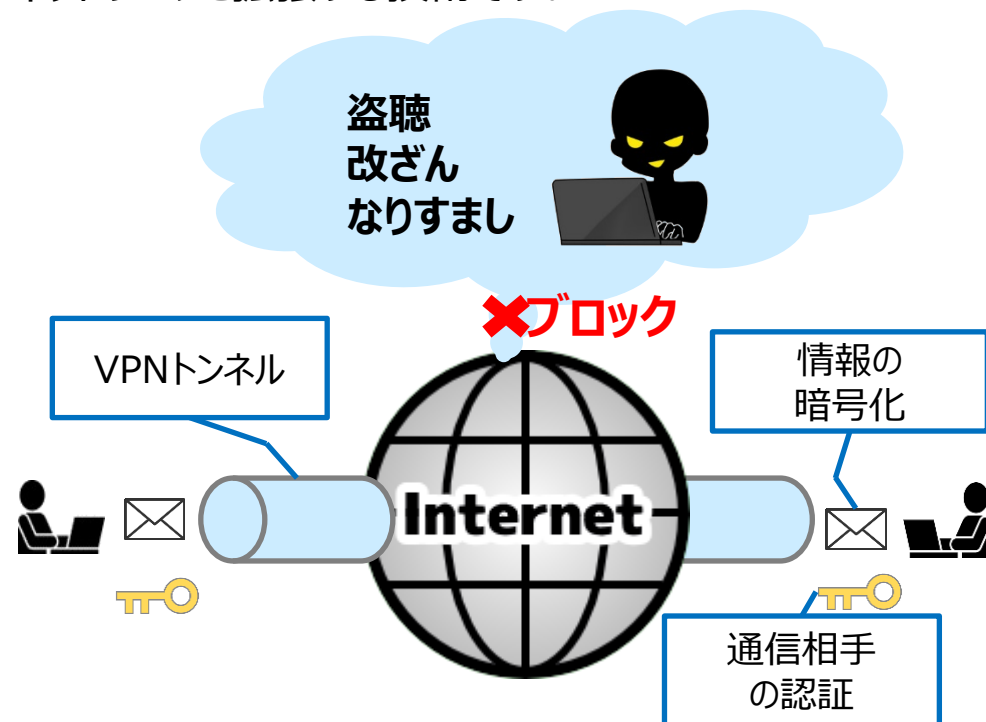
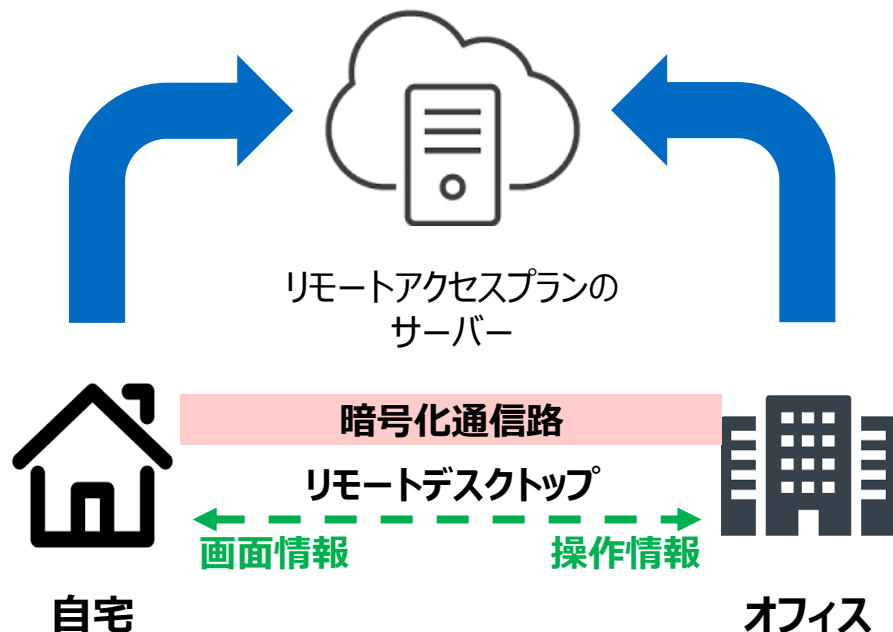
テレワークを行う従業員と重要な情報のやり取りを行う場合は、さまざまな手口のサイバー攻撃に対応できる高度なセキュリティ対策が必要です。

リモートアクセスとは？

離れた場所にあるLANなどのネットワークやコンピュータに外部から接続することで、自宅から会社などのネットワークやコンピュータを活用することができる。

VPN(Virtual Private Network)とは？

VPNとは、インターネットなどの接続している利用者の間に仮想的なトンネルを構築し、プライベートなネットワークを拡張する技術です。



アクセス認証やVPNによる通信の暗号化など、セキュリティ対策も万全なテレワーク環境の構築に効果的なシステムを活用するとよいでしょう。

課題解決に適したITツール – セキュリティ –

代表的なリモートアクセスツールの特徴、費用、機能についてご紹介します。

Magicconnect (マジックコネクト)

【特徴】

- 専用ソフトをインストールするだけで導入が簡単
- 認証方式が複数選べるため使い分けが可能
- 1アカウント単位の契約のため利用範囲が広い

【費用】

- USB型：18,000円/年
- 端末認証型：18,000円/年
- モバイル型：12,000円/年

【機能】

- 接続構成変更機能
- リモートメンテナンス機能
- ダウンロードで簡単導入

SpiashtopBusiness (スプラッシュトップビジネス)

【特徴】

- 1秒あたり30フレームでリアルタイムに高速描写
- 業務で使用されるOSのほとんどに対応可能
- 海外から会社PCに接続する場合でも高レスポンス

【費用】

- SpiashtopBusinessプラン：15,000円/年
- SpiashtopBusiness Proプラン：18,000円/年

【機能】

- 機能PCの共有設定機能
- ファイル転送
- グループینگ機能

どこでもデスクトップ

【特徴】

- 安全・簡単にテレワークの管理ができる
- ログインするだけで使える仮想デスクトップ
- 万全なセキュリティ対策で情報漏洩の対策

【費用】

- エントリー：100円/h
- スタンダード：150円/h
- クリエイティブ：220円/h
- 月額費用：1,200円/VM

【機能】

- ブラウザからログインしてすぐに使用開始
- ローカルと完全分離している
- ハイスペックマシンとして利用可能

課題解決に適したITツール – セキュリティ –

代表的なVPNツールの特徴、費用、機能についてご紹介します。

ExpressVPN (エクスプレスVPN)

【特徴】

- 速さ、セキュリティ、ネット三拍子揃ったVPN
- スピードがVPNに接続していてもほぼ変化なし

【費用】

- 1年 : 6,67ドル (3カ月無料つき)
- 1カ月 : 12,95ドル
- 6カ月 : 9,99ドル

【その他】

- トライアル30日間返金保証
- 同時接続可能台数 : 5台
- 日本語対応 : あり
- アプリ : あり
- サーバー数 : 94カ国
3,000サーバー

セカイVPN

【特徴】

- 海外在住日本人に有名な世界VPN
- 日本の会社で対応もジャパニーズクオリティ

【費用】

- 月額 : 1,100円

【その他】

- 2カ月間無料トライアル
- 同時接続可能台数 : 3台
- 日本語対応 : あり
- アプリ : あり
- サーバー数 : 5カ国

マイIP

【特徴】

- セカイIPと同じインターリンクのVPNサービス
- 日本の動画配信サービスがほぼ全て視聴可能

【費用】

- 月額 : 1,100円

【その他】

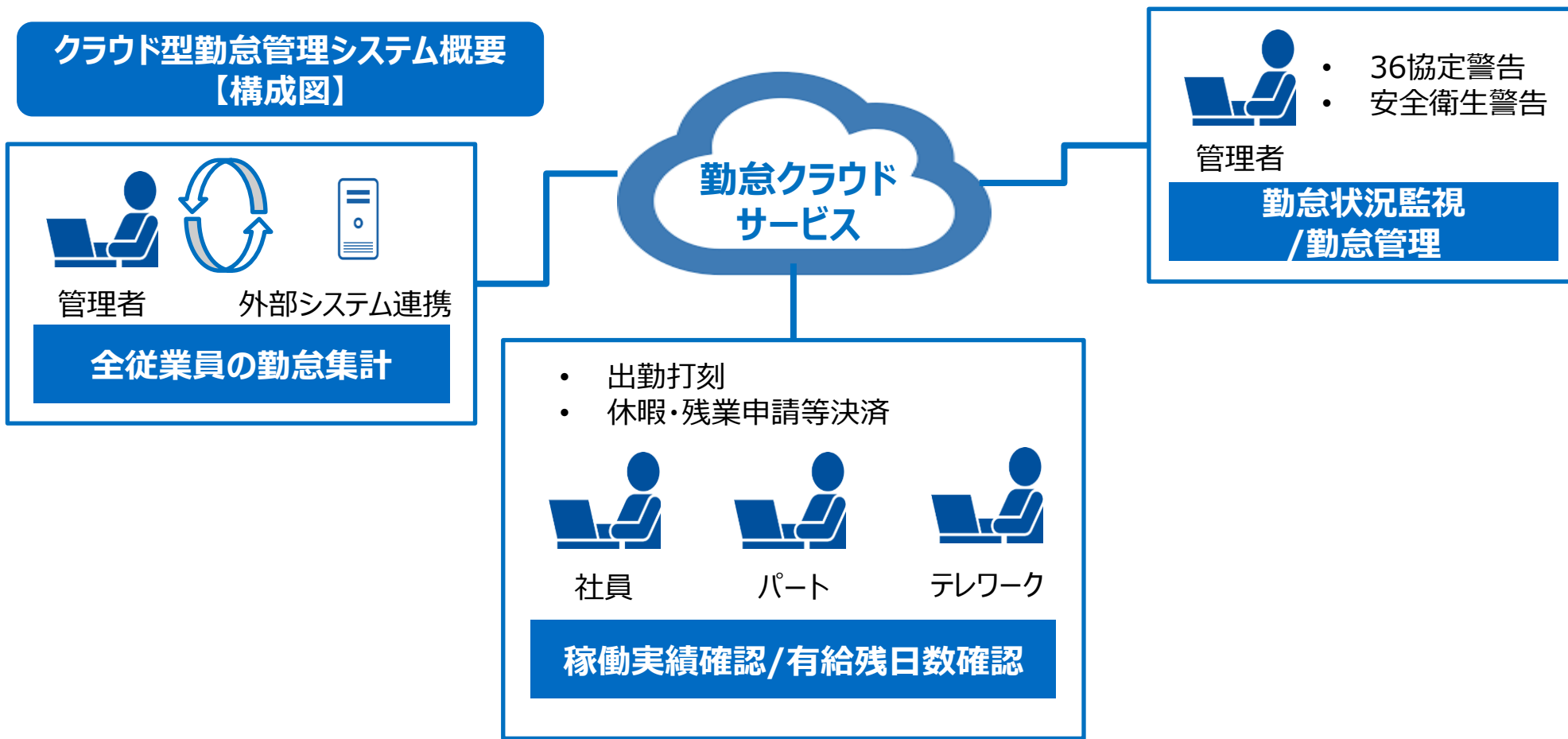
- 2カ月間無料トライアル
- 同時接続可能台数 : 1台
- 日本語対応 : あり
- アプリ : あり
- サーバー数 : 日本のみ

-
1. テレワークとは
 2. テレワーク導入における課題
 3. 課題解決に適したITツール – コミュニケーション –
 4. 課題解決に適したITツール – セキュリティ –
 5. 課題解決に適したITツール – **勤怠管理** –
 6. まとめ

課題解決に適したITツール - 勤怠管理 -

テレワークを導入すると、従業員の勤怠の把握が課題となります。労働実態の把握は、給与計算や従業員の評価、従業員管理に関わる重要な要素です。

クラウド型勤怠管理システム概要 【構成図】



労働実態を把握するひとつの選択肢として、「クラウド型勤怠管理システム」の導入があります。

課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –

従業員管理の課題についての対応策として、勤怠管理システムを導入することがひとつの選択肢になります。導入する際のメリットとデメリットを挙げておきます。

勤怠管理システムとは？

社員の出退勤の時間を管理するシステムで、勤務時間や残業時間、欠勤の管理などを行うことができる。入力されたデータに基づき、欠勤や休暇、給与などの計算を自動的に行うことで業務効率を上げることが可能。

| 勤怠管理システムのメリット | 勤怠管理システムのデメリット |
|---------------------|-----------------|
| 給与計算の自動化 | 導入作業の負荷が高い |
| 労働時間や休暇取得をリアルタイムに把握 | 費用対効果が見えにくい |
| 法改正への迅速な対応 | 初期投資が高額になる場合がある |

課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –

代表的な勤怠管理システムの特徴、費用、機能についてご紹介します。

| ジョブカン勤怠管理 | Money Forward (マネーフォワード) | JinJer (ジンジャー) |
|--|--|---|
| <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">• 業界一の多機能性を誇る勤怠管理システム• スマホ・PC・タブレット、ICカード、指静脈認証 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none">• 初期費用/0円• 200円/1ユーザー/月• 月額利用料/0円 <p>【アプリ対応】</p> <ul style="list-style-type: none">• iOS <p>【推奨規模】</p> <ul style="list-style-type: none">• 1人～10,000人 <p>【提供形態】</p> <ul style="list-style-type: none">• クラウド | <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">• 勤怠制・シフト制・フレックス制さまざまな働き方に対応• 勤怠データ連携による給与計算で業務効率化を実現 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none">• 初期費用/0円• 300円/1ユーザー/月• 月額利用料/無し <p>【アプリ対応】</p> <ul style="list-style-type: none">• 非対応 <p>【推奨規模】</p> <ul style="list-style-type: none">• 50人～2,500人 <p>【提供形態】</p> <ul style="list-style-type: none">• クラウド | <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">• iBeaconやGPSなどの打刻機能とチャット機能• 管理側のマルチデバイスフルで専用端末は不要 <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none">• 初期費用/100,000円• 300円/1ユーザー/月• 月額利用料/無し <p>【アプリ対応】</p> <ul style="list-style-type: none">• IOS/Android <p>【推奨規模】</p> <ul style="list-style-type: none">• 1人～10,000人 <p>【提供形態】</p> <ul style="list-style-type: none">• クラウド |

-
1. テレワークとは
 2. テレワーク導入における課題
 3. 課題解決に適したITツール – コミュニケーション –
 4. 課題解決に適したITツール – セキュリティ –
 5. 課題解決に適したITツール – 勤怠管理 –
 - 6. まとめ**

まとめ

テレワークに限らず、新しい制度や仕組みを導入する際には様々な課題が発生しますが、出てきた課題に応じて、それぞれに適したツールを導入することで解決することができます。

まずは試験的に1つの部署もしくはグループだけでテレワーク・ツールを導入し、実際にどのような課題が発生するかを検証しながら推進することで、導入をスムーズに進めることができます。それぞれの会社にあった理想的なテレワークの形を見出していきましょう。

INTLOOPについて

さまざまな経営課題の解決を支援するコンサルティング事業を主軸に、テクノロジーを駆使しビジネスモデルの変革を目指すデジタルトランスフォーメーション事業、システムの開発・導入を支援するテクノロジーソリューション事業、専門性の高い人材をご紹介する人材ソリューション事業の4事業を柱に事業を展開。

常にお客様の視点に立つことを第一義に考え、お客様の課題に対して最適なソリューションを提供し続けています。

お問合せ

下記フォームよりお問合せください。

<https://www.intloop.com/contact/general/>

記載の企業ロゴデザインについて

記載している企業のロゴ、商標は企業が提示しているガイドラインを確認したうえで記載しています。デザイン、商標についての著作権は、それぞれの企業に帰属しています。

免責事項

この文書に記載されている情報は一般的なものであり、特定の個人や組織に対するアドバイスを提供するものではありません。掲載情報の正確さについてできる限りの努力をしていますが、その正確性や適切性を保証するものではありません。何らかの行動をとられる場合は、本資料の情報のみを根拠とせず、専門家による適切な分析・アドバイスをもとにご判断ください。当資料を用いて行う一切の行為、被った損害・損失に対しては当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。当資料の著作権は当社にあります。当資料の転載、流用、転売など、ダウンロードされたご本人様以外のご利用は固くお断りさせていただきます。